

特色ある読書推進活動の紹介



令和6年10月28日発行 福島県教育庁県北教育事務所

県北地区の「読書ボランティア」紹介！

子どもたちに「物語の世界は楽しい!ということ、様々な方法で伝えたい!」と、おはなし会や学校での読み聞かせを行っている読書ボランティアのグループがあります。

子どもたちにワクワクするような物語の世界を届けようと「人形劇・影絵・朗読劇・大型紙芝居・昔話」等を音楽や効果音も入れるなど工夫を凝らして活動を続けてきた、図書ボランティア「ひよこの会」について紹介します。

図書ボランティア ひよこの会

子どもたちが、瞳を輝かせて見入る姿に、
私たちが力をもらっています！



※ 写真は令和6年7月23日に福島市立清水小学校『青空学童保育』で上演を行った時の様子です。

登録人数 10名

活動日 打合せと勉強会 月1回
(活動は毎週1回)

活動内容 人形劇・影絵・朗読劇
大型紙芝居・昔話

活動場所 もちずり学習センター
幼稚園・養護学校
小学校・老人ホーム
福島大学 等



大型紙芝居



昔話



人形劇

【子どもたちの感想】

- ・読んだことのある絵本と少し違ったので昔話がおもしろかった。
- ・人形劇のおばけは本物みたいで、追いかけているところがおもしろかった。



すごい!

人形劇は、絵本から題材を選び、台本や演出、使用している人形まですべてが手作りです。音楽や効果音を使って、雰囲気作りや、場面の切替が行われ、子どもたちは物語の世界に引き込まれます。

「ひよこの会」は、33年前のもちずり公民館の図書室作りから始まり、毎週読み聞かせを行ってきました。同時に子育て中の母親たちが「悩みを共感できる場」として、毎月開催する「ひよこの広場」も立ち上げました。絵本の楽しさだけでなく夏祭り、運動会、芋煮会、サンドイッチやケーキ作り、リトミック、年一回の「親と子と本のつどい」など様々な活動を行うことで、子育て中の母親たちの大切な居場所作り、つながり作りの場にもなっています。

2022年、「ひよこの会」はこれまでの活動が評価され、地元の福島信用金庫から、地域の子どもたちを応援する団体として、「最優秀賞(もも賞)」を受賞されました。「これからも、子どもたちの笑顔あふれる集いになるよう、会員一同励みたいと思います」と話す会員の皆さんが、楽しんで活動をしている姿がとても印象的でした!